

2026 年 8 月 3 日
株式会社シーイーシー

【シーイーシー】『統合報告書 2026』を発行
～AI との共存による新たな事業機会の創出と、多様な人材が活躍できる組織づくりを紹介～

株式会社シーイーシー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：姫野 貴、以下 シーイーシー）は、2026 年 8 月 3 日（月）に『統合報告書 2026』を発行し、当社コーポレートサイトにて公開しました。

本報告書は、財務・非財務の情報を総合的にまとめ、ステークホルダーの皆様にはシーイーシーの事業運営や中長期的な価値創造への取り組みをご理解いただくことを目的として発行しています。

2026 年版では、AX（AI トランスフォーメーション）の本格化を踏まえた事業戦略、知財戦略、グループ会社紹介、女性活躍推進などについて開示を拡充しました。

シーイーシーは、今後も適切な情報開示を通じてステークホルダーの皆様との対話を深めるとともに、事業活動による企業価値の向上に努めてまいります。



■『統合報告書 2026』の主なポイント

本報告書では、長期的な価値創造に向けた取り組みを総合的に紹介しています。
2026 年版で拡充した内容は、以下の 5 つのトピックです。

●Top Message：「AI との共存」による価値創造で「お客様から最も必要とされる SIer」へ

代表取締役社長が、AX の本格化という現状認識のもと、AI を脅威ではなく成長のドライバーと捉え、今後の価値創造の方向性を示します。

●執行役員座談会：生成 AI が生み出す新たな事業機会への挑戦

営業および各セグメントを担当する執行役員が、AI を「インターネットの登場に匹敵する構造変化」と捉え、新たな事業機会への挑戦や AI と共存しながらお客様にとって必要不可欠な企業へ進化するための展望について率直な意見を交わします。

●知財戦略：知的財産を戦略的に活用し、ストック型ビジネスへの構造転換を加速

長年の事業活動で蓄積した無形の経営資源を「法的知財」「データ×AI 資産型知財」「ノウハウ型知財」「協創型知財」に分類したうえで、技術革新担当を統括責任者とする推進体制のもと「創出→権利化→活用→収益化→再投資」の好循環を目指すことをお伝えします。

●グループ会社紹介：3 社の役割とシナジー

シーイーシーグループを支える 3 社（株式会社シーイーシーカスタマサービス、大分シーイーシー株式会社、株式会社コムスタッフ）の代表が、それぞれの事業内容やシーイーシーグループにおける役割・シナジーを紹介します。

●女性管理職交流会（DE&I 特集）：多様な人材が活躍できる組織づくり

持続的な企業価値向上に向けた DE&I 戦略の一環として、多様なキャリアやライフステージを経験しながら組織を支える女性管理職へのインタビューを通じて、組織づくりや人材育成の実際をお伝えします。

■『統合報告書 2026』の主な構成

イントロダクション

パーパス・理念体系、Top Message、沿革、財務ハイライト、非財務ハイライト

価値創造について

価値創造プロセス、中長期経営計画（VISION 2030）、サステナビリティ経営

新たな価値創造への道筋

中期経営計画進捗、セグメント別戦略、営業戦略、技術／AI／財戦略、執行役員座談会、
グループ会社紹介、人材戦略、財務戦略、成長戦略、全社 DX の推進、新規事業の創出

新たな価値創造を実現する取り組み

DE&I（女性活躍推進特集）、環境貢献、社会貢献、コーポレートガバナンス など

■仕様形態

A4 サイズ フルカラー 62 頁

■閲覧方法

『統合報告書 2026』は下記のサイトよりご覧いただけます。

- ・ シーイーシーコーポレートサイト

統合報告書公開ページ：https://www.cec-ltd.co.jp/ir/integrated_report/